

平成24年度「テレワーク全国展開プロジェクト」(概要)

■ ICTを活用した柔軟な働き方の実現、業務継続性等の観点からテレワークに対するニーズは高まっている一方、情報セキュリティに対する懸念やテレワークシステムに関するノウハウ不足といった導入に関する課題が顕在化。

■ このような課題に対応するため、以下の施策を実施。

① 新たなセキュリティガイドラインの策定

新たなICT機器、クラウド型サービスの登場などの情報通信技術の進展を踏まえ、テレワーク導入の促進に資する新たなセキュリティガイドラインの策定を行う。

② 専門家派遣・テレワーク導入優良モデルの確立

3大都市圏を中心に、中小規模の企業からモデルとなる企業を選定、専門家を派遣し、テレワーク導入を支援。導入に当たって必要なプロセスのひな形をとりまとめ、業種別・規模別の導入優良モデルを確立。

③ ①・②の普及促進

各導入モデルについて地元の商工会議所等と連携し、企業の経営者を対象としたセミナーを実施。テレワークのメリット、自社と類似の規模・同業種の企業におけるテレワークの導入モデル及びセキュリティガイドラインの周知により、企業経営者層のテレワークへの理解を図る。

事業の流れ

知識化

●情勢の変化に対応した新しいセキュリティガイドラインの策定

新しいセキュリティガイドラインの策定

モデルの確立

●モデル企業に専門家を派遣、導入の優良モデルを確立
●導入過程を「見える化」し、横展開に向けたモデルを構築

テレワークの導入支援

周知・啓発

●優良導入モデルを商工会議所等との連携のもと周知・啓発

商工会議所等の活用

普及

●周知されたモデルを参考に、企業がシステム導入を検討・実施

導入企業が増加